

★ まちづくり ニュース



ホームページ

<https://tokiwadai.net/>

283号



2025年11月29日

常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

— 都心低空飛行問題について —

○ 高裁判決は棄却

特に変わった動きはありません。

○ パスポートを身分証明に

パスポートはその申請に戸籍謄本と最近の顔写真、10年通用なら16,000円の手数料が必要で、2週間ほどの審査を経て日本国政府が発行する物であり、世界中に通用する身分証明書です。

先日、スマホの乗り換えに行ったらドコモの販売員にパスポートは身分証明にならないと言われました。家に帰ってからドコモのお客様苦情係に電話してみると、販売員の言うとおりだと思ふとの返事。ドコモがパスポートを認証の書類に認めないということを確認したいと言うと、さすがに即答できず、どこかに相談した上、結果はパスポートを認めることになりました。これ一点で良さそうなものだが健康保険証など他に一点付ければと言う。国際的に認められているものを国内では半端物に扱うのはおかしいと思いませんか。

○ 千代田コンサルタントとは

右記の提案をしている千代田コンサルタントとはどんな会社なのか調べてみました。

業界62位の会社ですが、山梨県の県道橋の設計ミスで2022年8月から1ヶ月の指名停止を受けています。更に常磐自動車道の橋脚の補強工事で過大設計のミスにより工費3倍工期4倍になる損失を出し、2024年9月26日～11月8日まで競争参加資格停止を受けている会社でした。こういう業者に発注するのはどんな理由があるのでしょうか。

○ 旧中央図書館跡地活用検討状況 の説明会があります

12月16日(火) 18時30分～19時30分
12月21日(日) 14時30分～15時30分
常盤台地域センターレクリエーションホール

申し込み方法

11月15日～28日〔金〕17時までに
電子申請または葉書で申し込む
定員50名 先着順に締め切り

となっていました。常盤台住民にとって重大なお知らせにもかかわらず、あまり周知されていないようで心配なので

板橋区土木部の手伝いを
勝手にしてしまいました。
電子申請はこちら →
締め切りにご注意ください！



▲電子申請はこちら

○ 跡地利用の提案書を手入

ある人が情報公開制度によって千代田コンサルタントが作成提出した企画提案書を手に入れました。「跡地を考える会」が19日に、景観を守る会が21日に、それぞれ企画政策課と話し合いを持ちましたがかなり地元住民には受け入れがたいところがあるので、地元の希望を尊重して行くよう、これからも交渉しなければならないようです。区民の声を聞こうとしない姿勢が問題。

区が地下に作ろうとしているのは駐輪場の設置問題です。私たちが陳情した音楽ホールは第一種住専が用途地域では無いという理由ではじかれたのに、同じく用途に外れている駐輪場は区の自由に承認しようとするやり方は納得できません。駐輪場はもっと他に工夫し考えることができると思います。

お店紹介 (3)

「舟蕎麦」

蕎麦好きの間で隠れた名店と言われる「舟蕎麦」さんです。前号で紹介した「花ぐるま」の斜め向かいで隠れ蓑の緑に風情を漂わせています。取材も快く受けて頂きました。

常盤台の前は亀戸天神で三十四年ほど先代が続けていました。当代は浅草の蕎麦匠で修業し、二十五年前にこの地に住居共に引越してきました。

名字の船山の間に蕎麦の一字を入れ、「船」の字が重いので「舟」に替えて、音だけは「せんきょうざん」としたそうです。

機械で作る蕎麦屋が増えていく中で、すべて手作業で作っています。蕎麦の粉は北海道産を使用、コロナの時は一人の客も無かった日もあったそうですが、客足は途絶えず、いつもお店は繁盛しています。

蕎麦に付くつけ汁がいつも少なめで、物足りなく思ったりしたので質問したところ、江戸の蕎麦は辛汁（からじる）で、ちよこつと漬けてすすめるもの、ドボツと漬けて食べるのは粹（いき）ではないのです、とやんわり言われました。手打ちは堅めのもの、お子さん連れのためにうどんも用意しており、汁物ももちろん揃えています。蕎麦は本来冷たい状態で食べるもの、と言葉少なめですが蕎麦文化の伝統を守り伝えている自信と心意気が感じられました。天ぷらは海老の尻尾まで力り力りです。何よりも本物の蕎麦に出会えますよ。

紅葉を身近で楽しむ

ギンナンを拾って楽しむ

紅葉の季節になりました。新中央図書館のある上板橋の平和公園には樹齢数十年のイチヨウが何本もあります。黄色に染まった梢を眺めながらベンチでお昼を食べるのも楽しみのひとつ。

ギンナンを拾う楽しみもあります。上皮は臭くて始末に困ると言う人も多いのですが、ビニール袋に入れて揉み出して取るとか、地中に埋めて取り出すという方法もあります。

健康長寿医療センターへ行く途中の都立豊島病院脇の坂道にも銀杏があり、ギンナンが沢山落ちていました。誰も拾わないようでした。

銀座に出たついでに日比谷公園をぶらぶらする人はとくにご存知でしょうが、イチヨウの木が沢山あり、従ってギンナンも沢山落ちていて、ときたま拾っている人もいますが、それでも拾いきれないほど落ちています。

硬い表皮を割るには、専用のくるみ割りのようなものがあります。わざわざ買う迄も無い人は軍手でギンナンを持ち、布巾の上で金槌で一撃するのが常道だと思います。当りがうまくなれば一発で裂け目ができますが、指を打たないように注意してください。

簡単に割って食べたい人は茶封筒に入れてレンジで一分チンすると封筒の中で爆発して食べることが出来ます。ただ、形も滅茶苦茶になります。

常盤台公園のはなづくり

常盤台住民にはちよつと遠くなつてしまった図書館ですが、上板橋の新図書館まで散歩がてら行って見て下さい。イチヨウが黄色に染まっています。

一方、旧図書館の跡はどうなるのか、明確な方針も示されないまま、いきなり測量が始まりました。

いづどんな工事になるのか不明のまま、チューリップは掘り出すわけにもいかないので、今年はベンチの後ろに植えることにしました。上にあるビオラやパンジーは工事が始まったら移動させようと思っています。

そこは子供たちがボールを蹴り込む場所にもなっているのです、土木課に頼んで柵を設置して貰いました。ちよつと低い柵なので心配ですが、直ぐにやってくれたのは有難いことです。

土・日の午前中は隣の新興宗教の信者達の集まりで、公園は使われない状態がずっと続いています。

前野町の幼稚園が土曜日に運動会をしていました。ご近所への挨拶がビラで配られ、当日は子供たちや親たちの歓声、保育士さん達の活躍で賑やかでした。

この公園が常盤台の住民だけではなく人々に愛され利用されていることを感じます。

